授業科目	フィールドワーク入門					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	角谷　尚久						
授業概要	フィールドワークの基礎を学ぶ。フィールドワークの目的や手法を学び実践することで、調査対象地の実情をより理解することにつなげる。調査対象・項目をそれぞれでグループワークにて決定した上で、発表に向けた調査を行う。						
授業形態	講義およびフィールドワーク			授業方法	対面ならびにフィールドワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1）フィールドワークの目的と方法を理解し、計画することができる。 2）フィールドワーク対象の概要を把握しておくことができる。 3）フィールドワークの成果を分析、考察した上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。 フィールドワークの基礎知識を理解し、フィールドワークの重要性を説明できる。
理想的レベル	フィールドワークの基礎知識を理解し、フィールドワークの重要性を説明できる。さらに興味をもった分野について、具体的に説明できるようになる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%	
レポート外の提出物		
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T011501J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明
第 2 回	フィールドワークの概要 ・フィールドワークとは ・フィールドワークの意義
第 3 回	フィールドワークの方法 ・調査方法についての説明

第 4 回	フィールドワーク内容の調整（１） ・グループ並びに発表順の決定 ・目標設定について
第 5 回	フィールドワーク内容の調整（２） ・目標設定および役割分担について
第 6 回	フィールドワーク内容の決定 ・フィールドワーク内容の発表
第 7 回	フィールドワークの実施（1） ・文献調査
第 8 回	フィールドワークの実施（2） ・前回の精査
第 9 回	フィールドワークの実施（3） ・文献追加調査
第 10 回	フィールドワークの実施（4） ・文献調査まとめ
第 11 回	フィールドワークの分析・まとめ（１） ・フィールドワーク結果の集約
第 12 回	フィールドワークの分析・まとめ（２） ・フィールドワーク結果の分析
第 13 回	フィールドワークの分析・まとめ（３） ・グループごとに発表の準備をする
第 14 回	フィールドワークの分析・まとめ（４） ・発表内容をとりまとめ、発表準備を完了する
第 15 回	フィールドワークの成果発表 ・グループごとの発表
テキスト	適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・佐藤郁哉（2006）『フィールドワーク増訂版　書を持って街へ出よう』新曜社 ・山田剛史・林創（2011）『大学生のためのリサーチリテラシー入門』ミネルヴァ書房 ・福岡県高等学校地理研究会編集『福岡県の魅力を探る旅　地理教師がすすめるフィールドワークブック』光文館
課題に対するフィードバックの方法	授業参画やグループワークでの貢献度を重要視する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
学生へのメッセー	調査の成果発表はマイクロソフトパワーポイントを使用してのプレゼンテーション発表となる。 授業の進捗により、スケジュール・授業内容の変更を行う場合があるので、留意のこと

ジ・コメント	